



文 **社会学** コース
Sociology
人間行動学科



社会学コースとは？
その魅力って？

社会学コースでは、家族やメディア、都市、マイノリティなど特定の「テーマ」はもちろん、理論や調査などの「方法」に重点が置かれています。社会学ではあらゆる社会現象が研究対象になるので、実際にはテーマや対象についてはかなりルーズな学問です。でもそのかわり、社会学の「方法」をきちりと学ぶ必要があります。色々な理論や方法論をしっかりと学び、自分が関心のあるテーマを社会的な対象として練り上げることが必要で、そこが社会学の難しいところでもあります。社会学の方法を身につけることで、一見違ったテーマのあいだに共通点を見つけだし、自分の興味関心だけに閉じこもらずに視野を広げることができるはずです。



岸政彦
『街の人生』
勁草書房

著者の岸さんは市大社会学の大学院出身です。市大社会学にはマイノリティを中心とした実証研究の伝統があり、ライフヒストリーは3回生の実習でもよく使う方法です。この本を読んで自分もぜひ社会学をやりたいと思ってもらえたら嬉しいです。

先生
おススメの本

先生ご自身の専攻とそのやりがいとは？

高校生のころから「自分の知らない世界を知りたい」と思っていて、それを叶える学問を探して社会学に辿り着きました。現在は国際比較を専門としています。実際にラテンアメリカやアジア、ヨーロッパの貧困地域を訪れて現地の人々にインタビューをすることもあり、かと思うとインタビューや統計のデータを分析するため一日中パソコンに張り付くときもあります。こうした様々なアプローチをすることが可能であり、さらにこうした方法論についての考察もおもしろいです。また、年齢や生活の変化によって興味・関心が変わっても、それにあわせて研究テーマを変えることもできるので、社会学は一生を通じて接していくことのできる魅力があります。

准教授
川野 英二
【かわの えいじ】
先生

三回生
平津 華子
【ひらつはなこ】
さん

おススメの授業は…
社会学概論II

「コンビニの夜間営業」から「貧困って何?」ということまで様々なテーマについて、毎回違うグループでディスカッションをする授業です。「常識の外に出て考える」、「さらに問題を自分に引き付けて考える」という社会学に必要な思考の仕方を実践的に学ぶことができました。



- 卒業論文タイトル紹介**
- ・ きゃりーぱみゅぱみゅチームから見る現在の流行音楽
 - ・ 出生前診断に関する言説分析
 - ・ 日本における自殺——ジェンダーと年齢の観点から——

学びの中でのエピソードを教えてください

授業で社会学者ジグムント・バウマンの著作を読み、社会学的思考の魅力を実感しました。内容はテロ・金融危機など多様で、文章の意味を理解できても実感できるところまで読まなければわからない、内容が濃く難しい本です。しかし、二・三冊目と読み進めると内容を理解できるようになり、おもしろさを感じられるようになりました。社会学というフィールドワークなどが目を引きますが、社会を読み解く思考を身につけるには、社会学者の思想が凝縮された著作を読むのも重要だと気づかされました。



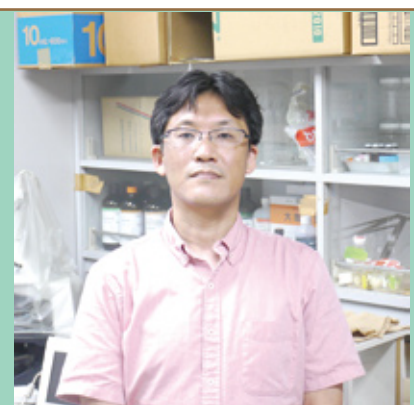
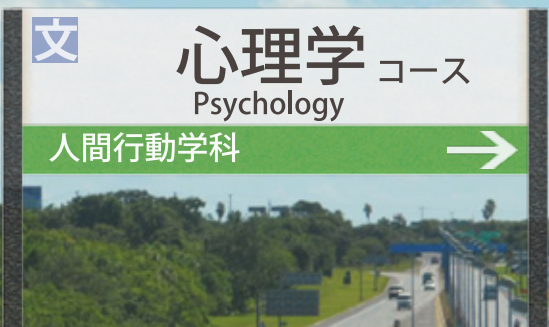
文：川野先生

社会学コースにとっての【旅】とは？

「対象」としての旅と「方法」としての旅を分けて考えてみましょう。グローバル化によって国境を越える人の動きも盛んになり、観光が大衆化することによって、ホスト社会との関係、環境問題など新たな問題が注目されています。また、組織的なツアーではなく自由度の高い《旅》に真正性が求められるようになっています。エコツアーリズムや社会的ツアーリズム、さらに「ダークツアーリズム」と呼ばれる戦争跡地や被災地を訪れる観光の形態も様々な角度から研究されています。これらのテーマを社会学の研究対象としてさらに掘り下げていくことができるでしょう。「旅」は身近な日常から距離をとり、自分の世界と他の世界を比較する視点を与えてくれます。「自明性から距離をとる」、「比較することで違ったものに共通性を見つけ、似たものに違いを見つける」ことは、社会学だけではなく学問一般に共通する初歩的な方法です。問題意識を見つけたために「旅」に出てみるのもいいかもしれません。これはいわば「方法」としての旅といえるでしょう。

心理学コースとは？ その魅力って？

心理学は、感覚、知覚、学習、記憶、思考、感情などといったさまざまな心の働きを解明していく学問領域です。人間や動物が行う多様な行為や行動は、これらの心の働きが複雑に絡み合っただけで起こっている。このような心の働きは本来目に見えないものですが、実験や調査といった科学的な手法によって得られたデータからどのような心の働きが起こったのかを推測することができます。このように自らの体を動かすこと（実験や調査）によって、自分の頭の中で組み立てた心の働きに関する仮説を証明していくことが心理学の大きな魅力の一つです。



准教授
川邊 光一
【かわべ こういち】
先生

三回生
森 祐樹
【もり ゆうき】
さん

先生ご自身の専攻と そのやりがいとは？

私は元々大学で生物学を専攻しており、本格的に心理学の道に進んだのは大学四回生の頃からでした。そのときに行ったラットの記憶実験は今の研究とも深くかかわっています。心理学は多様で複雑な「行動」を対象にしており、とてもマクロなレベルで研究するため、細胞や分子、遺伝子などを対象にとってもミクロなレベルから研究する研究領域に比べ仮説の実証が難しいですが、それをどう乗り越えていくか試行錯誤するところにおもしろみややりがいがあると思います。

先生 おススメの本

フロイド・E・ブルーム
『新・脳の探検』(上・下)
講談社ブルーバックス

脳とさまざまな精神機能の関係が網羅的に書かれている本です。カラー図版が豊富であることや、膨大な情報が掲載されているにもかかわらず新書サイズで持ち歩きに便利であることも魅力の1つです。



おススメの授業は… 心理学実験演習Ⅰ・Ⅱ

計十以上の心理学実験を実施します。毎週レポートを提出しなければならぬため、履修生の悩みの種になる授業です。しかし、心理学各分野の基本的な内容や実験方法、学術的文章の書き方を学べますし、他のコース生と協力して実験を作り上げるのとても楽しく、後になってから身になったと思える内容です。

卒業論文タイトル紹介

- ・人における社会割引——不均衡な報酬配分比率および共有格率の変動の経験効果——
- ・ラットの自発的物体再認におけるカンナビノイドCB1受容体作動薬の効果
- ・会話における不適切ジェスチャーが聞き手の記憶に与える影響

学びの中でのエピソードを 教えてください

大学に入るまでは、心理学は華やかで日常生活に密着したおもしろい学問だという認識を持っていました。しかし実際は、結果の予想を立てた上で実験を行い、得たデータに統計処理をしてグラフや表を使いながら考察するというのが地道な研究方法をとります。数字や表計算ソフトを扱うなど、アプローチが思っていたものとは違って最初が戸惑いましたが、ここから、理論立ててものを述べることの難しさや大切さを学ぶことができたと思います。

心理学コースにとつての 【旅】とは？



私たちが旅に出かけるときには、旅の計画を立てる、旅先の風景に感動する、出会った人と会話を交わす、現地の名物に舌鼓を打つ、お土産に何を買おうか迷う、旅先の思い出を心にとどめるなど、いろいろな体験をし、さまざまな行動をすることになります。これらの体験や行動は目で見たり耳で聞いたりすることによって得られた情報や、過去の経験により得られた情報がさまざまな形で、また意識的・無意識的に頭の中で処理された結果として生じるものです。このような情報処理やその結果として得られた体験・行動のほとんどすべてが心理学の研究対象となります。特に私の研究領域（生理心理学）では、これらの情報処理や行動が、脳や神経細胞のどのような働きによって生じるのかということを調べます。また、精神疾患などの脳の異常によってこれが障害されること（旅行の例でいえば、まともな旅行の計画が立てられなくなる、思い出を記憶することができなくなる、人との会話がうまく成り立たない、感情が乏しくなり旅行を楽しめないなど）がありますが、その生物学的な原因を探るといっても行われます。

文：川邊先生



教育学コースとは？
その魅力って？

教育学コースでは、皆さんにとって身近で馴染みのある「教育」という事象を、思想・歴史・内容・方法・制度といったさまざまな側面から研究することができます。また、多様な専門領域を背景とする教員集団から、講義や演習等を通して丁寧に指導を受けることで、「教育学」に関する専門的な素養を身につけることができます。さらに、研修も兼ねた宿泊旅行や学習会・研究会などの活動が学生自身の手で企画・運営・実施されています。これらの活動は、学生たちの充実した「学びの場」としても機能しており、そうした活動を通して、教員と学生、また、学生同士のコミュニケーションが非常に活発かつ充実した形で展開しています。

先生ご自身の専攻とそのやりがいとは？

私は、教育学の中でも、カリキュラム研究・教師研究を専門にしています。カリキュラム研究では、過去や現代の教育実践を題材に、何を学ぶのか(計画)、また、何を学んだのか(結果)、といった事象の内実を対象に、また、教師研究では、教師とはどのような存在なのか、といったテーマを中心に行っています。そうする中で、百人いれば百通りあるような教育の方法についての一般性・普遍性、また個別性・特殊性の問題に取り組んでいます。教育という営みは、人として生きる上で誰もが身近に感じるものであり、学校教育に限定されません。教育という分野の窓口を通して、人間について考えを巡らすことができますのです。



准教授
森久佳
 【もりひさよし】先生

三回生
北村翔己
 【きたむらしょうき】さん

おススメの授業は…
教育学実習

この授業では、大阪市の幼稚園・小・中・高等学校にボランティアに行き、現場で気がついたことについて発表・考察するといったものでした。私自身は小学校に行き、極端に自信がない生徒が自信をつけていくプロセスについて考え、結論として教師の同僚性が必要だということを考察しました。



先生
おススメの本

金出武雄
『素人のように考え、玄人として実行する：問題解決のメタ技術』
 PHP文庫

アメリカでロボット研究を推進した著者(金出先生)が、研究者としての経験と立場を活かしながら、発想や創造などの「知の技術」のポイントをわかりやすく示してくれています。この本のタイトル自体を、私自身は座右の銘の1つにしています。

卒業論文タイトル紹介

- ・中等教育におけるリーダーシップとフォロアーシップ
- ・現代の子どもの遊びと生活における問題とは『赤い鳥』時代の生活を教訓に
- ・子ども達が自分自身の生き方を考えていく国語科教育のあり方

学びの中でのエピソードを教えてください

「特別な支援が必要な児童」についての授業を通して、特別支援児に抱いていた印象が大きく変化しました。いわゆる障がい児学級に在籍している児童とそうでない児童の境界線は、実際には曖昧であり明確に分けることはできないということを知りました。

実際に何校か小学校にボランティアに行ったときも、障がい児学級に通う生徒がどのように普通学級に参加しているのか、どのような学びが必要なのかといった今までと違った視点でボランティアができました。



教育学コースにとつての【旅】とは？

「旅」を「普段は行かない場所(未知・既知も含めて)を訪れる」という緩やかな定義しておくならば、そうした営み自体が、何かしら自分に変化を及ぼしてくれると思います。

ただ、私の専門は「教育学」ですが、もし仮に「旅」の教育的効果は何ですか?と聞かれても、「その人がそのときになってみないとわからない」としか答えようがありません。計画を立てて「旅」をすることももちろんありますが、それでも、(良くも悪くも)予想外の出来事だっけ起きることもあるし、そもそも、「旅」をする時点で、「こんな効果があるだろう」とか、「こんなことを学ぶだろう」といったことを具体的に想像しませんが、おもしろさが半減するような気がします。「何か良いことがあればいいな」といった漠然とした、それでいて希望のような思いや期待感といったものを胸に抱いて「旅」するからこそ、「旅」はおもしろいのだと思います。

「人生そのものが「旅」とよく言われるのも、こうした点に着目しているからかも知れませんね。



文・森先生

地理学コースとは？ その魅力って？

地理学は、人間と環境とのかかわりや、社会現象の空間的な現われを研究対象とし、その背後に潜む法則性を探究する非常に間口の広い学問です。本学の地理学コースは、アジア・ヨーロッパ・アメリカなどで現地調査に携わったスタッフを擁し、充実したハード・ソフトを備えた勉学環境の下で、地理学の広範な分野を学ぶことができます。当コースでは、設立当初よりフィールドワーク（野外調査）を重視し、そこで培った調査能力やコミュニケーション能力を基礎に、現代世界が直面する課題に敏感で、総合的な思考力と行動力を備えた学生を育成することを目標としています。



地理学 コース

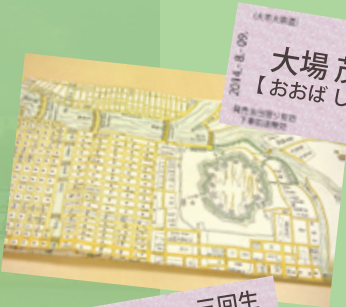
Geography

人間行動学科



先生ご自身の専攻と そのやりがいとは？

私は、現代のドイツの大都市を事例に、政策や制度がどういった形で空間に表れているかを調べています。他国の文化を知ることで、何気ない日本の生活を相対化して見られるようになり、異文化理解に通じる意識が身につきます。中学、高校の地理とは違い、現地に赴き観察し、地元の人に話を聞くことが何よりも大切です。地元の人々の案内で、自分の知らなかった風景に出会えることはとても楽しく、現地で学びながら考えることのおもしろさは、体験してみても初めてわかるものです。



教授
大場 茂明 ▶
【おおば しげあき】
先生



三回生
尾崎 瑞穂 ▶
【おざき みずほ】
さん

先生 おすすめの 本

司馬遼太郎
『街道をゆく』全 43 巻
朝日文庫

大阪出身の著名な作家の手による紀行文集。四半世紀にわたって著者が訪れた土地は国内外の数十ヶ所に及び、人と自然とが織りなす多種多様な風景は、まさに現代の『風土記』といえるでしょう。

おすすめの授業は： 地理学野外調査実習Ⅰ

この授業では、ある地域で数日間のフィールドワークを行います。そこでは各自が決めたテーマについて調査をします。聞き取り調査等、初めてのことばかりで大変でしたが、現地でも多くの出会いや発見があり、とてもよい経験になりました。報告書が完成したときは、非常に大きな達成感がありました。



学びの中でのエピソードを 教えてください

様々な先生方による講義やフィールドワークを通じて、普段何気なく歩いている町並みにも地理的要素が多く含まれていると考えるようになりました。例えば商店街においては、店の業種が周辺に住む人々の年齢層といった特徴とリンクしていたり、駅の設置場所が店の経営状況を大きく左右したりして店が、このように、ある一つの場所及び物事に対する見方が、地理的な考え方を学ぶことによって広がったように思います。

卒業論文タイトル紹介

- ・エルサレム旧市街における歴史的建造物の保全と住民生活支援
- ・介護保険制度の導入と改正に伴うデイサービスセンターの立地の変化——大阪府吹田市・豊中市を例に——
- ・雲仙普賢岳平成噴火災害後の災害機構の観光地化——「負の遺産」・ジオパーク・ガイドに注目して——

地理学コースにとっての 【旅】とは？

【旅】とは？

旅とは「日常生活から離れて他の場所を歩く」ことである。移動手段が限られていた近世以前、旅は貴族など、限られた人々のものであり、修学旅行の起源となった英国の「グランド・ツアー」も、その本質はエリート階層による異文化経験でありました。鉄道のような大量輸送機関の発達とともに旅は大衆化していくが、団体で名所・旧跡をめぐり、旅館の大広間で宴会を行う慰安旅行型から、家族や友人など少人数による各種体験型へと、旅のかたちや行き先も時代とともに変わってきました。それは旅行者や宿泊施設などのあり方にも影響を及ぼしており、たとえばガイドブックやバックツアーのパンフレットの記載内容を仔細に分析すればこうした変化を把握することができます。玉石混交の情報が氾濫している今日、掲載する写真の選び方ひとつをとっても、それが観光地という場所のイメージを大きく左右することにも注意したいです。などと想いをめぐらせつつ、地誌学（地域研究）の担当者としては、受講生が旅に出なくなるような講義ができるよう、心がけています。

文・大場先生

